

立命館土曜講座

2024年1月テーマ

文字
と
絵画

山田は、『史記』・『春秋左氏伝』などの文献資料に記されない、あるいは痕跡が残されているのみの楚国の歴史について、出土文字資料を駆使してその一端を明らかにします。現在、白川静記念東洋文字文化研究所のメンバーを中心に科研費基盤（B）「東アジア漢文化圏の疾病・疫病観の史的・現代的展開：鬼系病因論の起源と思想的水脈（代表大形徹）」の研究をすすめています。下野氏には、そのテーマにそってお話しいたします。「疫」は病人を棒で叩き、取り憑いた疫鬼を追いはらうという文字でした。のちに方相氏と十二獣神が疫鬼をはらう難の儀式を行い、「疫鬼を食ってしまうぞ」と脅します。また日本に伝わった道教の符にも「疫鬼を食らうぞ」という文がみえます。それを絵画にしたものが「辟邪絵」です。

企画：立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所

1月13日

出土文字資料から見える先秦史
- 楚国を事例として

楚公逆鋪



やまだ たかひと

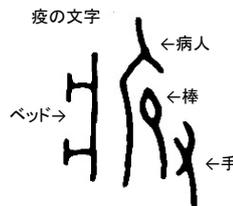
立命館大学非常勤講師
白川静記念東洋文字文化研究所客員研究員

山田 崇仁

1月20日

「辟邪絵」に見る疫鬼と
それを滅する神々

疫の文字



疫鬼を逆さづりにする天刑星

しもの あきこ

武蔵野美術大学造形学部非常勤講師
早稲田大学教育学部非常勤講師

下野 玲子

疫鬼を食らう天刑星

<https://www.narahaku.go.jp/collection/1106-1.html>

- 時間 10:00~11:30
- 参加費 無料・事前申込要
- e-mail doyo@st.ritsumei.ac.jp
- TEL (075)465-8224/F A X (075)465-8245
- 主催 立命館大学衣笠総合研究機構
- お申込み は、立命館土曜講座ホームページから
- 文字通訳配信します

● ハイライト講座

1/13 衣笠キャンパス末川記念会館+ZOOM

1/20 歴史都市防災研究所カンファレンスルーム+ZOOM

土曜講座

検索

